



森と海の自然科

「太子町ウォーク（聖徳太子と日本遺産の街を訪ねて）」の報告

実施日 2024年4月18日 近鉄長野線喜志駅 10時集合

参加者 25名

行程 喜志駅でバス→聖徳太子御廟前下車→叡福寺→西方院→三尼公墓→和みの広場で昼食→用明天皇陵→推古天皇陵→双子塚古墳→孝徳天皇陵→竹内街道歴史資料館→太子町役場バス乗車→近鉄喜志駅

案内：山下 写真：片本ガイド、大石、浅野 記録：浅野

天候は晴で汗ばむほどの陽気。酷い黄砂の空の下、熱心なガイドさんの案内で歴史遺産を満喫。行程後半は暑さでいささかバテ気味のメンバーも出るほどでした。

集合場所の近鉄貴志駅では下車する乗客の多さに驚き（大阪芸術大学の学生達のように）、目的地の聖徳太子御廟前までの近鉄バスでは、平日に突然のシニア団体客で常連客？はさぞ迷惑だろうかと気になりながら、集落を縫う細い道を見事に走り抜けるバスの揺れを堪能し、聖徳太子御廟前で待ち構えておられた（ように見えた）太子町観光ボランティア「太子街人ガイドの会」の方々のご案内でいよいよウォークスタート。



叡福寺南大門でスタートの集合写真
 宝塔の奥、聖光明院を背景にフジの花
 金堂で本尊如意輪観音参拝とご住職の講話
 右端写真は聖徳太子御廟と廟窟偈碑（びょうくつげひ）
 廟窟偈碑の碑文はガイドブックに掲載、最下段の一部
 は不届きな参拝者が記念に欠いて持ち帰り欠損
 この後、西方院、三尼公墓を回り和みの広場で昼食



双子塚古墳へ向かう途中に3羽のキジ、
鳴き声も聞きました

昼食後、用明天皇河内磯長原陵を経て、遠方からでも古墳とわかる一際目立つ推古天皇磯長山田陵へ、さらに整備工事中の国史跡二子塚古墳（方墳を2基つなぎあわせた珍しい双方墳）を巡り、孝徳天皇大坂磯長陵の参道入口を経て、国登録有形文化財である大道旧山本家住宅の茅葺き大和棟を横目に見ながら（残念ながら平日は休館）最後のポイントの太子町立竹内街道歴史資料館へ帰りのバス時刻を気にしながら資料館を急いで見学、竹内街道を急ぎ足、太子町役場前のバス停へ無事到着、解散しました。充実した一日でした



推古天皇陵にて



推古天皇陵から黄砂で煙る羽曳野丘陵方面を遠望



竹内街道歴史資料館前



太子町役場前バス停にて解散